

新採用職員を チームみなかみで支えます！



管理者：横田弘美

定期面接を月末に実施、進捗状況や困っていることを確認します。

みなかみの里では新人職員が安心して業務に取り組めるように、現場での指導はもちろん、管理者も含めたスタッフ全員がチームになってフォローできる仕組みを作っています。新人職員が独り立ちできるまで、しっかり支えていきます！



企画調整課：山本裕樹

新採用研修、フォローアップ研修などを企画。基礎から応用までサポートします。

新採用職員



介護職員：生利悠子

ご利用者の笑顔と幸せのために頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



介護職員：池田萌花

ご利用者が笑顔で安心して過ごせる環境づくりを頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



介護職員：東條薫

池田さんの指導担当。仕事の悩みからプライベートまでなんでも相談に乗ります！



介護職員：笠原翔貴

生利さんの指導担当。困ったことは何でも聞いてください。一緒に乗り越えます！

みなかみの里の地域に支えられて、たくさんの方のご利用者の生活が守られています。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い致します。

苦情受付0件
各事業所に苦情相談担当がおります。遠慮なくご意見をお寄せください。今後ともサービスの向上に努めてまいります。

苦情報告

(令和六年一月～令和六年三月)

ボランティア活動
(令和六年一月～令和六年三月)
新型コロナウイルス感染症感染予防の観点からボランティア活動受け入れは中止しております。今後の受け入れ再開時にはよろしくお願いいたします。

寄付金品

(令和六年一月～令和六年三月)
匿名様 (オムツ・パット)

みなかみの里

令和6年4月号 No. 119

社会福祉法人 新井頭南福社会
特別養護老人ホーム みなかみの里

T:0255-73-7733 FAX:0255-72-9785
T:0255-70-6688 FAX:0255-72-7308

みなかみの里

令和6年4月号

No. 119



お散歩での一コマ。満開の桜の木の下で楽しそうにお話ししているところを写真に撮らせていただきました。これからは陽気も良くなるため、積極的に外出の機会を設け、心身のリフレッシュが図れるように努めていきたいと思っています。

基本理念 心温かな介護を通じ、生きる喜びと感動あふれる地域づくりを目指します！

- 1、人と地域を愛します
- 2、確かな介護を提供します
- 3、開かれた施設を目指します



社会福祉法人 新井頭南福社会

特別養護老人ホーム みなかみの里
新潟県妙高市大字上新保549番地
TEL:0255-73-7733 FAX:0255-72-9785

みなかみの里ディ・サービスセンター
新潟県妙高市大字上新保549番地
TEL:0255-70-6688 FAX:0255-72-7308

URL:<https://www.araikeinanfukushikai.or.jp>



ケアハートみなかみ(ショートステイ)
新潟県妙高市大字上新保554番地1
TEL:0255-72-7756 FAX:0255-72-7854

みなかみの里在宅介護支援センター
新潟県妙高市大字上新保554番地1
TEL:0255-72-7321 FAX:0255-72-7308



令和6年度 みなかみの里 事業計画

基本方針

- まちづくりの視点での地域包括ケアの進化のため、職員の理解と他関係機関との連携を深める取組みを行うとともに、地域の支えあいの拠点活動と機能強化をはかります。
- 地域に開かれた施設運営のため、感染対策を行いつつ、心豊かな生活が出来るよう家族や地域との連携を強化するとともに、各事業所の強みや活動実績の情報発信に努めます。

- 人材育成と働きがいのある職場づくりのため、人材確保に向けた募集活動や情報発信力の強化、職員の能力開発のための研修の充実、働きやすい職場づくりの三つの取組みを進めています。
- 自立と尊厳を支える質の高いケアの提供のため、自立支援や重度化防止に向けた、多職種連携によるトータルサービスを提供し、褥瘡防止や排泄支援等に重度化への対応力向上を目指します。

特別養護老人ホーム

①協力医療機関との連携強化

- ・けいなん総合病院との連携を強化し、入退院に関する情報の共有や、新規入所における迅速な対応につなげていきます。



②感染対策に基づいた家族や地域とのつながり方の検討と実践

- ・感染症が発生した場合でも必要な介護サービスを継続的に提供していくための仕組みを作っていきます。
- ・広報誌やブログを充実させ、積極的な情報発信に取り組みます。



③ICT技術・介護ロボットを活用した科学的介護の推進

- ・オンライン研修を充実させることで時間の効率化を図り、働きやすい環境を作ります。
- ・ICT技術を活用した新たな業務体制の確立により、介護負担を軽減し、安心して安全な介護の提供を目指します。

ショートステイ

①ICT利活用で予約管理の迅速化と科学的介護の推進

- ・ホームページで空き情報掲載やタブレットの活用で予約調整の迅速化につなげます。記録システムや見守り支援機器の利活用で安心・安全なサービス提供を目指します。



②感染症対策と業務継続の実効性を確保し安全なサービスを提供

- ・標準予防策を徹底し、感染対応シミュレーション訓練を年2回以上実施し、職員個々のスキルアップを目指します。



③職員の専門性を高めて確かな介護の提供

- ・オンライン研修の活用で、職員個々のスキルアップや時間の有効活用で働きやすい環境作りを行います。

デイサービス

①機能訓練体制を強化し、多職種連携による効果的な機能訓練を実施

- ・機能訓練指導員と連携して、跳ね上げ式車椅子を活用した「ノーリフトケア」を実践し、利用者の自立支援と介護職員の負担軽減を図ります。
- ・機能訓練指導員が作成する生活動作の向上を目的とした訓練計画のもと、利用中の動作においても多職種で取り組みます。



②感染症対策と業務継続の実効性を確保し、安全なサービスを提供

- ・標準予防策を徹底し、感染予防の個々のスキルアップを行います。
- ・感染症や非常災害対策に必要な研修や想定訓練を行い、緊急事態にもスムーズに対応し、サービスの継続性や信頼性を確保します。



③記録システムを活用した科学的介護の推進と業務の効率化

- ・記録システムを活用した業務の効率化と情報の共有化を図り、事業間の情報連携を強化します。

居宅介護

①質の高いケアマネジメントの提供

- ・職員の資質向上に向け、個別の研修計画に基づいた研修を実施します。
- ・事例検討を行い、外部研修にも積極的に参加し実践に役立てます。



②多職種や地域とのネットワーク強化

- ・医療機関や介護サービス事業所との連携を図ります。
- ・地域の力を最大限活用できるよう顔の見える関係作りを目指します。

③身近な相談窓口としての機能強化

- ・在宅介護の入口として、また、地域の身近な相談窓口として、多くの方にお気軽にご利用いただけるよう事業所のPR活動を行います。



④記録支援システム、ケアプラン作成支援AIの導入検討

- ・記録システム等の導入を通して、業務の効率化や標準化を目指します。